

「YAMATO ART100」の参加団体を募集

「YAMATO ART100」は、市民団体、アーティスト、行政などが秋に開催するアートイベントの総称で、大和の文化芸術を広く発信し、アートの力で人とまちを元気にすることを目的としたプロジェクトです。

対象▼次のすべてに該当する団体または個人

①9月11日(土)から12月19日(日)に、音楽、演劇、映像、美術などアートのかわるフェスティバル、舞台公演、展示会などを市内で開催

②本市の文化芸術の振興を図り、事業遂行および収支に関して責任を持って主体的に取り組める

③同プロジェクトの広報活動に協力できる

④鑑賞するだけでなく、市民が参加できるもの

⑤申し込み▼5月31日(月)(消印)までに募集要項にある参加応募用紙を直接または郵送で〒242-8601 市役所文化振興課へ。ファックス可。

※募集要項は同課、各学習センターで配布するほか、市のホームページからダウンロードもできます。

※6月下旬までに選考結果を通知します。

⑥市役所文化振興課文化振興係 ☎(260)5222 ☎(263)2080

⑦市役所文化振興課文化振興係 ☎(260)5222 ☎(263)2080

文化芸術・生涯学習活動を応援！

生涯学習振興補助金を交付

市は、文化や芸術などの生涯学習事業に補助金を交付しています。

対象▼市内を中心に活動する市民や団体が開催する次のすべての条件に該当する事業

①定例的のものでなく広く市民に向けて実施する

②文化、芸術、生涯学習を内容とする

③事業費の総額が20万円以上である

④来年4月1日から再来年3月31日まで実施する

補助金額▼経費総額の2分の1以内(上限25万円。全団年で年間100万円を上限)

申し込み▼6月15日(火)までに、必要書類を直接市役所文化振興課へ。

※必要書類は、同課、各学習センター

で配布するほか、市のホームページからダウンロードもできます。

※プレゼンテーションによる選考を実施し、結果は9月頃通知します。

☎市役所文化振興課文化振興係 ☎(260)5222 ☎(263)2080



団体を▼やまと療育教育推進プロジェクト。

☎市役所市民活動課協働・ボランティア・県人会・市民活動支援係 ☎(260)5103 ☎(260)5138

市民活動推進補助金の対象事業が決定

市民、市民団体、事業者による非営利の市民活動を支援する「市民活動推進補助金」。「新しい公共を創造する市民活動推進基金」を活用する同補助金は、新たな市民活動の立ち上げを支援する「めばえ」と、すでに実施している活動を支援する「はぐくみ」の2種類があります。今年度は、「はぐくみ」の1事業を決定しました。

事業名▼「地域で多様性を認める子育て」を推進する

事業内容▼地域における多様性を認める子育てを推進するため、「学び」と「繋がり」を軸に講演会や懇談会を開催する

やまと成人式の実行委員をやってみませんか

一生に一度の舞台を演出

来年1月10日(祝)の成人の日開催する「やまと成人式」の実行委員を募集します。式典内容の企画や、当日のステージ出演など、準備から本番まで携わることができます。一生に一度の舞台を一緒に作ってみませんか。

活動日程▼月2回程度(開催日は実行委員会決定)

対象▼①新成人・平成13年4月2

日〜同14年4月1日生まれ、②次年度新成人・平成14年4月2日〜平成15年4月1日生まれの市内在住者

定員▼①10人程度、②5人程度

申し込み▼6月15日(火)(必着)までに住所、氏名、電話番号、生年月日を記載し、ファックスまたは郵送で〒242-0018 深見西1-2-17 ベテルギウス内こども・青少年

課へ。直接または電話も可(5月17日(月)を除く)。

☎ベテルギウス内こども・青少年課 ☎(522)6 ☎(260)2876



当日は委員のステージ出演も

市長見聞録

大和市長 大木 哲

市民の皆さん、こんにちは。今回は、三つのこととお話したいと思います。

いずれの内容も、市の調べでは全国初の取り組みです。新型コロナウイルス対策をはじめ、今後も市民の皆さんに寄り添った施策の推進を図ってまいります。

市の地域特性を踏まえた新型コロナワクチン接種体制「大和モデル」を構築

大和市では、市協医療機関での「個別接種」と公共施設を活用する「集団接種」に、市独自の「別動隊」を加えた「大和モデル」を構築し、ワクチン接種を進めてまいります。

この「別動隊」は、最寄り駅から距離のある地域に住んでいる高齢のかたを接種対象として想定しており、対象や日程を限定しながら、機動的にワクチン接種を行います。高齢のかたの優先接種期間終了後は、大和駅からのアクセスが良い市民活動拠点ベテルギウスに「別動隊」の接種会場を移します。大和市国際化協会が隣接するこの会場では、外国人市民のかたも安心してワクチンを接種できる環境を整える予定です。

ワクチン接種が円滑に進むことにより、新型コロナウイルスが収束に向かうことを切に願うとともに、大和市の行政を預かる者として、希望するすべての市民のかたが、1日でも早く安心してワクチンを接種することができるよう、効果的・効率的な取り組みに全力を注いでまいります。

デリバリーを行う市内飲食店に市独自の補助金を交付

コロナ禍における外出自粛などにより、飲食店を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。また、新しい生活様式の広がりを受けて、デリバリーやテイクアウトの需要が拡大するなど、飲食業界は大きな転換期を迎えています。

そこで市は、市内で飲食店を営む中小企業や個人事業主のかたを応援するため、デリバリー用メニューの作成とポスティングにかかる費用を補助する「大和市デリバリー店支援金」を創設。少しでも負担を軽減できるように、対象費用にかかる補助率は100%(上限額20万円)となっています。販路拡大のきっかけとして、ぜひご活用ください。

「見えない」を見逃さない 市立小・中学校のすべての教室に視力検査表を導入

文部科学省が令和元年に実施した調査によると、裸眼視力1.0未満の子は、小学生で34.6%、中学生で57.5%となっており、共にこれまでで最も高い割合を記録しました。

このような背景を踏まえ、市は子どもたちの視力低下を見逃さないよう、視力検査に用いられることが多いランドルト環式視力検査表を市立小・中学校のすべての教室に設置することを決定しました。また、子どもたちが自主的に学べる環境を整えるため、視力低下防止に関する図書を学校図書館に配架します。

子どもの健康はもちろんのこと、市民の皆さん一人ひとりが健やかな生活を送ることができるよう、市はこれからも健康に関する施策を実施してまいります。

今回は、この辺で……。